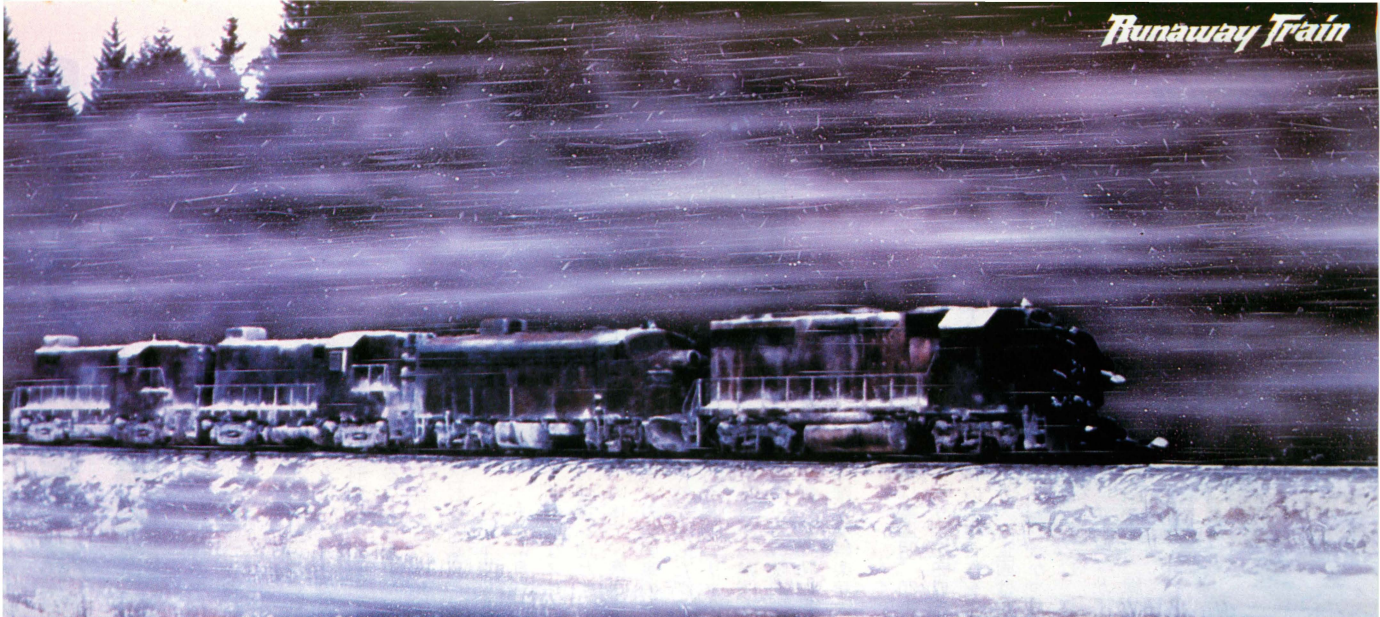


Runaway Train



興奮、沸騰点。

原案：黒澤 明

BASED ON A SCREENPLAY BY AKIRA KUROSAWA

監督：アンドレイ・コンチャロフスキー

DIRECTED BY ANDREI KONCHALOVSKY

主演：ジョン・ボイト

JON VOIGHT

映画は、遂に限界を超えた。

暴走機関車

エリック・ロバーツ レベッカ・デモーネイ ジョン・P・ライアン

製作：メナヘム・ゴラン、ヨラン・グロバース 撮影：アラン・ヒューム 音楽：トレバー・ジョーンズ〈サントラ盤：ビクターレコード〉編集：ヘンリー・リチャードソン

カラー作品 アメリカ映画 配給：松竹富士株式会社

DOLBY STEREO



「暴走機関車」の原案は黒澤明、20年以上も前、黒澤はこの傑作シナリオを完成させ、日本人として初の海外との本格合作を企てたが、種々の理由から、この壮大な企画は実現しな

かった。しかし、このとにかく面白い脚本を捨てておくことはない、



ぶりの「大アクション劇」で、観る者の手に汗をにぎらせることは確実な娯楽超大作である。この映画は、久しぶりの「大アクション劇」で、観る者の手に汗をにぎらせることは確実な娯楽超大作である。

見渡す限りの大雪原、猛吹雪の中を、巨大な4重連のディーゼル機関車が時速150キロで暴走しつづける！
運転士がいないこの走る鉄の塊には、何と2人の脱獄囚がひそんでいた！その脱獄囚を執念で追いつづける刑務所長、必死で暴走機関車を止めようとするコントロールセンター。正面衝突の危機は？急カーブをまわり切れずに化学工場に突っ込む危険は？、次から次へと起ってくるピンチ。

まさに息もつかない

圧倒的なスピード感を

特撮を使わず、自らの

肉体で、寒さとスピード

の機関車の上での苦闘を演じたジョン・ボイト、エリック・ロバ

ーツらの熱演が見もの

と数人の人々が映画化を志したが、どうしても現実のディーゼル機関車（しかも4重連で、うち一輛は流線型でなければストーリーが成り立たない）と、十分なスピードを出せる線路、しかも吹雪と雪原という設定の中で本当にアクションをやらなければならぬ危険。等々の障害がつきまとい、このとにかく面白いシナリオも単に読むだけしか出来ないのか、と思われていたが、20年を経た今、すべての条件をクリアして「暴走機関車」は走り始めたのだ。

監督は「マリアの恋人」でアメリカ映画に

投じた、アンドレイ・コンチャロフスキー。

フランス・コッポラ監督が、責任をもって

クロサワに推挙した監督で、1981年、自

ら来日、黒澤監督とこの「暴走機関車」につ

ないかもしれない。
本年度アカデミー賞では熱演を評価されジョン・ボイトが主演男優賞、エリック・ロバーツが助演男優賞にノミネートされ、雪原の中、凍りつく機関車の上での身体を張ったアクションは、アクション映画の本場、アメリカでも驚きの眼で見られている。



すでにゴールデン・グローブ賞を受賞し（ジョン・ボイト）つづいてカンヌ映画祭に正式出品となり、アメリカでは讃辞にうずもれている。

アメリカで絶賛の嵐

この素晴らしい映画を見ながら自問した。「映画界を自滅から救うような映画だ」

大サスペンス 私の生涯忘れぬ映画の一本になるだろう。10点満点の上にさらにプラスを与えたい。（ゲイリー・フランクリン・CBS-TV）

■本年度最高のアクション・ムービー（ニューヨーク・デイリー・ニュース）

■大脱走・大追跡。タフで暴力的で魅惑的。息苦しい位だ。全員素晴らしい。暴走機関車、傑作だ。（ABC-TV）

暴走機関車

ジョン・ボイト/エリック・ロバーツ/レベッカ・デモーネイ/カイル・T・ヘフナー/ジョン・P・ライアン

製作総指揮：ロバート・A・ゴールドストン、ボブ・ホワイトモア、ヘンリー・T・ワインステイン

製作：メナヘム・ゴラン、ヨーラン・グローバス/製作協力：マティ・ラッツ/監督：アンドレイ・コンチャロフスキー

原案：黒澤明 ●1985年/カラー作品/アメリカ映画/配給：松竹富士株式会社配給

6月7日(土)新館オープン/スペイン坂上

6月7日(土)より
ロードショー

丸の内ピカデリー (201) 2881

新宿ピカデリー (352) 1771

渋谷ピカデリー (464) 0051

歌舞伎町シネマ1 (209) 5032

池袋シネマサンシャイン2 (982) 6107

吉祥寺セントラル 0422 (48) 6321